

漢文Ⅰ

科目ナンバリング CHL-101

選択 2単位

原田 二郎

1. 授業の概要(ねらい)

中国古典文の基礎的読解力を身につける。

わたし原田は今年、他に中国文化概論、中国文化講読などを担当しているが、この科目はより基礎的な講義である。具体的には、歴史書の文章、詩、随筆など、私が準備したテキストをゆっくり講読していきながら、中国文化の基礎的な知識を身に付け、また古典文の語法を学んでいく。

難しく考えずに、中国の古典文学に親しむ(それは素晴らしい宝庫なのだから)ことが第一だ。

前期は主に故事成語を読む。

2. 授業の到達目標

- ・中国の古文を読む基礎的な力をつける。
- ・中国古典文化に親しむ。
- ・高校などの国語教員をめざす人には、必要な基礎力が身につくように。

3. 成績評価の方法および基準

学期末の筆記試験。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストを作って配布する

5. 準備学修の内容

前回学んだことをノートなどで復習して、かつ次回用に配布されてあるテキストを音読、知らない漢字は字書を引いて読めるようにしておく。

6. その他履修上の注意事項

受け身的な姿勢でなく、積極的な学習態度を期待する。

日本で日常化しているこれらの故事成語を生活の中で自在に使用・利用できるようにする。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入 授業のコンセプトの説明、「漢文」とは何か、どんなテキストを用いるか
- 【第2回】 「苛政は虎よりも猛なり」～「於」の用法
- 【第3回】 「陰徳ある者には 天、報いるに福をもつてす」～「以」と疑問形
- 【第4回】 「推敲」～「遂」の用法
- 【第5回】 「画竜点睛」～「即」の用法
- 【第6回】 「虎の威を仮る狐」～「AをもってBとなす」の用法
- 【第7回】 「塞翁が馬」～反語形の用法
- 【第8回】 「知音」～部分否定と全部否定 「琴」というもの～中国映画「工夫(カンフーハッスル)」2004
- 【第9回】 「先ず醜より始めよ」～抑揚形の用法
- 【第10回】 「石に漱ぎ、流に枕す」～「可」の用法
- 【第11回】 「可」研究 ～概説、諸書の用例
- 【第12回】 再読文字
- 【第13回】 受身形
- 【第14回】 使役形
- 【第15回】 総復習